



1年を振り返って



一歩ずつ...

校長 飯窪 美紀子

4月から校名を「相模原支援学校」としてスタートした令和5年度ですが、3月に入り、小中学部、高等部・分教室の卒業式がもう間近となりました。小学部6年生、中学部3年生の皆さんは、4月から新たな学部になります。高等部、分教室の3年生は4月から社会人としてお仕事をされる人、進学をする人等、それぞれ新たな道への一歩が始まります。どんなときも自分らしさを忘れず、自分のペースで歩いていってほしいと思います。

今年度は体育館の空調工事がありました。外部施設を利用する等子どもたちにとっては不便なこともありましたが、これからは空調設備の整った体育館で思いっきり体を動かし、楽しい活動がたくさんできることを期待しています。また、コロナウイルス感染症の影響が長く続きましたが、やっと通常の活動が実施できるようになった1年でした。令和6年度はさらにブラッシュアップし、充実した教育活動をすすめ、子ども

たちの笑顔あふれる学校となるよう今まで以上に地域と連携していきたいと考えています。

先日、金澤翔子さんの書が寄贈されました。県立の特別支援学校29校にそれぞれ一文字の書が届きました。相模原支援学校に贈られたのは「挑」という文字です。書をじっと見ていると、心の底を動かされ、パワーがみなぎってきます。そして、今年は辰年の中でも「甲辰」。「新しいことに挑戦して成功する」「これまで準備してきたことが形になる」等といわれているようで、この「挑」という文字は相模原支援学校がこれからさらに前進していくのにぴったりの文字だと捉えています。令和7年度の創立50周年に向けて、新たなことにもチャレンジし積み重ねていく年となるよう一歩ずつ進んでいきたいと思っています。



左から荒井教頭、飯窪校長、比留川副校長

☆しなやかに自分らしさを大切に☆

副校長 比留川 はるか

もうすぐ令和5年度が終わります。相模原支援学校の教職員がひとつのチームになり、保護者や地域の皆さまと一緒に協力して、子どもたちに笑顔あふれる時を創り出すことができたでしょうか？まずは校内環境（鉄扉や流し台交換、クッションフロアの床、PTAのご協力により明るく塗り替えた食堂の壁、体育館の空調設備設置…等）を安全に整えることができました。

子どもたちの興味関心や好奇心に満ちたキラキラした瞳、生き生きした表情を引き出す授業ができたでしょうか？もう少しかもしれません。「楽しい!」「うれしい!」「おもしろい!」「なぜだろう?」「ふしぎだな」「わからないけどもしかしたらこうかな?」「ちょっと難しい…だれか一緒に考えよう」「少しずつやったらできた!」「次は〇〇をやってみよう」「もっと〇〇ができるようになりたい」…子どもたちの声や思いを受け止め、学びに向かう気持ちとチャレンジしたいことを大切に、ICT機器も活用してチーム一丸で今後も授業づくりに取り組みます。

『初めて』や『変化』が苦手な場合もあるでしょう。でも、子どもたち一人ひとりの良さや得意なことを伸ばして地域で暮らす土台を育みます。ルーティンの中に小さな変化を入れて、柔らかくしなやかに自信を持って生きていく力を培います。家族や仲間、自分を大切にできる力を身に着ける支援を続けてまいります。これからもどうぞよろしくをお願いします。

人や物とのかかわりをとおして学ぼう！

教頭 荒井 佑輔

1年間の授業をふり返って、『仲間が参加して楽しめるルールをみんなで考える体育の授業』がありました。また、『グループで意見を出し合い、新しいものを創造する授業』もありました。さらには、『休み時間に小学部の児童が高等部の生徒と一緒に話したり、歩いたりする姿』や『高等部の生徒が中学部の生徒に、やさしく本の読み聞かせをする取組』もありました。このように、人や物とのかかわりながら学ぶ時のみなさんの顔は、とてもキラキラと輝いています。

いよいよ4月からは、『自分専用端末の活用』が始まります。コミュニケーションツールとして活用することで、人とかかわりをさらに豊かにすることや、見通しを持って安心して学校生活を送ることにつながっていきたいと思います。また、世界中のいろいろな情報を活用して、仲間とたくさんのアイデアを出し合いながら、新しい考えや、物を創りだしていきたいと考えています。

保護者のみなさまには、1年間たくさんのご協力をいただきありがとうございます。これまで以上に、児童・生徒がいろいろな人や物とのかかわって学ぶ姿が学校や地域中にあふれるよう、一緒に取り組ませていただきたいと考えています。よろしくお願いいたします。

卒業を迎えて



卒業式に向かって



今、6年生は卒業、そして、進学に向けて様々な活動をしています。中学部の授業を体験したり、卒業式や中学部の生活に合わせて、入室や挨拶の形を変えたりしています。また、6年間一緒に学んできた友だちとの思い出作りの卒業遠足やベンチやアルバム作りなどをしながら、楽しく活動しています。

思いどおりにいかなかったこと、辛かったことなど、色々な事があった中でも、みんなが一步一步前に進んでいることを、様々な行動・仕草・表情で感じられることが、とても嬉しいです。卒業式までの短い期間も、明るく元気に、一日一日を過ごしていきましょう。（小学部6年担任）

One Team～最高の仲間達～

卒業式まで、あと10日。8人の仲間と過ごすのもあと僅かとなりました。初めましてのドキドキの入学式から3年の月日が流れ、クラス目標に掲げた通り、すっかり一つのチームになりました。怒ったり、泣いたり、笑ったり、友だちを支え、時には支えられ、みんなでたくさんの経験をしてきましたね。相手のことを思いやれる、とても陽気で優しい3年生。これから出会う沢山のひととの出逢いを大切に、素敵な高等部生活を送ってくださいね。皆なら大丈夫！応援しています。（中学部3年担任）



未来にはばたけ「チーム輝」

2月15日、春のようなポカポカ陽気の中、卒業遠足でボウリングに行ってきました。みんなが笑顔で、仲間を尊重し、応援し合いながら盛り上がっている姿を見て、皆さんの成長をととても嬉しく感じました。卒業おめでとうございます！過ぎてみればあつという間の3年間でしたが、思い返すと本当にいろいろなことがありましたね。この3年間で経験したこと、学んだこと、出会った仲間達は、これからの皆さんが進んでいく将来、きっと皆さんを支えてくれる力になると思います。卒業はゴールではありません。ここからが本当のスタートです。



これからもずっと応援しています。そして、いつも温かく見守り協力していただいた保護者の皆様、この場をお借りして心より感謝申し上げます。ご卒業おめでとうございます。（高等部3年チーフ）

輝け16期！青春の道は永遠に！

卒業後について考える学習は、1年のときからずっと行ってきましたが、いよいよ本当に卒業が近づき、現実として真剣に考えるようになりました。3年間の思い出を言葉で表す学習では、仲間と共に過ごした楽しい日々のが、数多くつぶられていました。分教室での3年間の振り返ることで、自分とクラスの仲間、お互いの成長を認め合うこともできました。あとわずかだけ残された学校生活を大切に、仲間と楽しく過ごしてください。たくさんの思い出と成長を胸に、これからの社会人人生を送ってほしいと願っています。卒業おめでとうございます。今までご協力いただいた保護者の皆さま、本当にありがとうございました。（分教室3年担任）

